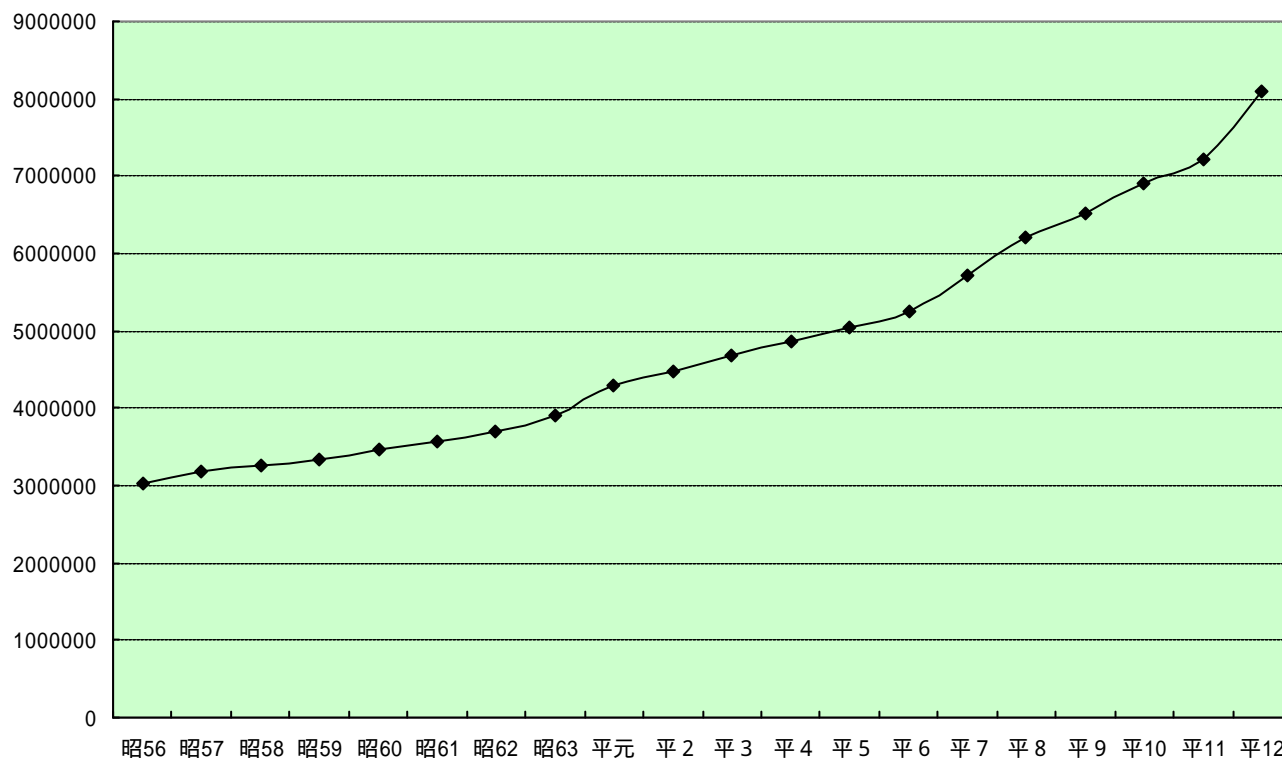
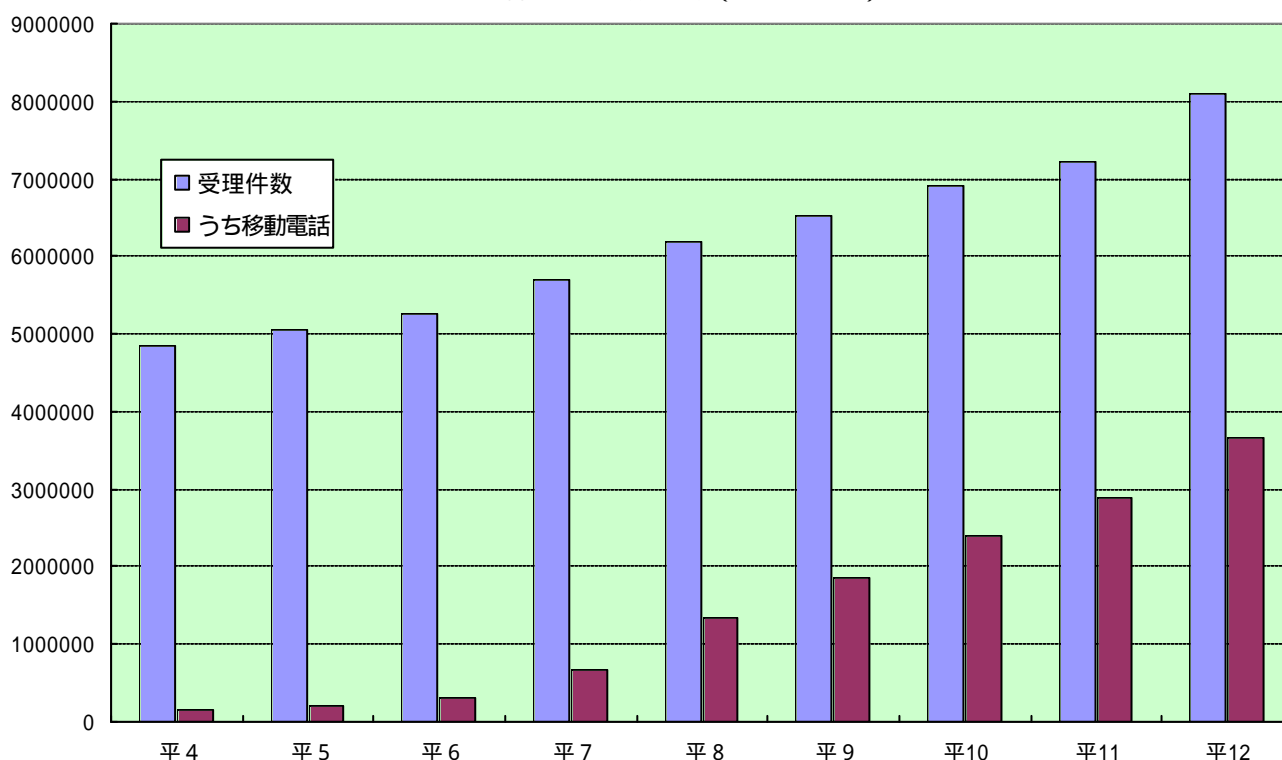


政策の名称	安全で安心なまちづくり対策（地域警察活動の強化（携帯電話に対応する発信地表示システムの整備））		
政策の内容・目的	<p>110番通報をした者が動揺して発信場所の伝達が困難である場合や、通報場所を把握していない場合等に、警察側がボタンを押す等の操作を行い、当該通報に係る発信地、発信電話番号等の情報を自動的に照会して、画面上に表示させ、当該情報に基づいて、迅速・確実な対応をとることにより、通報者等の生命、身体等の迅速・確実な保護を図るもの。</p> <p>なお、当初は発信電話番号の表示のみを行う。</p>		
必要性	<p>現行の発信地表示システムは、固定電話からの110番通報を対象として、平成10年度から運用が開始されているが、110番通報受理件数自体が急増する中であって、特に、現行のシステムでは対応できない携帯電話からの110番通報が著しく増加傾向にあり、平成12年には、110番通報受理件数の約45%を占めるまでになっている（別紙）。</p> <p>ところが、携帯電話からの110番通報については、通報者が自らの位置説明に困難を来す場合が多いため、現場特定に時間を要し、迅速・確実な対応がとれず、通報者等の生命、身体等に重大な被害を及ぼすことが懸念されるところである。</p> <p>そこで、通報者等の迅速・確実な保護を図るために、固定電話と同様に、当該110番通報の発信電話番号等を把握する仕組みを構築することが喫緊の課題となっている。</p>		
達成効果等	<p>110番通報をした者が動揺して発信場所の伝達が困難である場合や、通報場所を把握していない場合等に、当該通報に係る、当初は発信電話番号、将来的には発信地等の情報を瞬時に得ることにより、通報者等の生命、身体等の迅速・確実な保護を図ることができる。</p> <p>なお、平成12年当初から固定電話に係る発信地表示システムの運用を行っている9都府県における同年中の固定電話からの110番通報受理件数は193万8,531件で、このうち110番通報の内容から通報者等の生命、身体等に対する危険が切迫していると認められ、発信地表示システムを使用したのは3万1,862件であり、利用率は1.6%であった。同年中の携帯電話からの110番通報受理件数は全国で366万1,312件であったことから、9都府県における固定電話の場合と同様に1.6%の割合で発信地表示システムが使用されると仮定すると、年間5万8,581件の使用が見込まれるところであり、それだけ通報者等の生命、身体等の迅速・確実な保護が図られることになる。</p>		
予算額	平成14年度要求・要望額 416百万円		
効率性	110番通報をした者が動揺して発信場所の伝達が困難である場合や、通報場所を把握していない場合等に、通報者等の生命、身体等の迅速・確実な保護を図るには、本システムの導入が不可欠であり、本システムを導入する以外の選択肢はないと考えられる。		
その他	本システムの導入について検討するため、電気通信事業者を交えた検討会を数回開催している。		
政策所管課	地域課	政策評価実施時期	平成13年8月

件 110番通報受理件数の推移(昭和56~平成12年)



件 110番通報受理件数の推移(平成4~12年)



	昭56	昭57	昭58	昭59	昭60	昭61	昭62	昭63	平元	平2
受理件数	3,026,268	3,169,346	3,249,449	3,334,383	3,473,198	3,572,680	3,687,690	3,898,333	4,293,722	4,475,379
増減数	-	+143,078	+80,103	+84,934	+138,815	+99,482	+115,010	+210,643	+395,389	+181,657
うち携帯電話	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	平3	平4	平5	平6	平7	平8	平9	平10	平11	平12
受理件数	4,691,999	4,856,390	5,048,171	5,256,806	5,709,973	6,198,980	6,516,130	6,899,188	7,216,210	8,087,976
増減数	+216,620	+164,391	+191,781	+208,635	+453,167	+489,007	+317,150	+383,058	+317,022	+871,766
うち携帯電話	-	165,698	199,058	297,249	672,998	1,351,012	1,867,298	2,403,735	2,895,622	3,661,312